

令和4年度 学校評価

1 学校目標

神社神道を建学の精神とし敬神崇祖を教育の根幹として「浄・明・正・直」の心を養う。
生徒の才能と適正を開発し、学力・体力・気力の増進を図り個性あふれる心豊かな生徒を育成する。

2 中期目標

<p>1 学校運営</p> <p>(1) 神社神道の精神である「浄明正直」を実現する ア、授業・学校行事を通して神社神道の「こころ」を体得する イ、奉仕活動を積極的に行い奉仕の精神を養う</p> <p>(2) 教員研修の充実 ア、中学独自の教科別の教員研修の実施 イ、道徳教育推進委員会による道徳研修会の実施 ウ、中高合同教科別研修会の実施 エ、外部講師を招いて、教職員全員対象の研修会の実施 オ、ICT教育推進のため各種研修会・発表会・見学会の参加 カ、新任教諭による研究発表会の実施</p> <p>(3) 学校施設の充実 ア、学習施設の整備充実 イ、校内学習補助機材等の充実 ウ、高天原スポーツキャンパスの整備</p> <p>(4) 危機管理体制の確立 ア、災害時、管理マニュアルの作成 イ、水・食料・レスキューシートの備蓄 ウ、防犯訓練・避難訓練の実施（大阪880万人訓練の日） エ、住吉消防署による防災研修</p>
<p>2 基本的生活習慣の確立</p> <p>(1) 人権教育 ア、生活実態調査 イ、講演会及び視覚障害者の誘導体験の実施 ウ、道徳の授業と関連させた人権教育</p> <p>(2) 生活指導 ア、正門での登下校時の指導 イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態アンケートの実施 ウ、服装・頭髪等の指導 エ、中学朝礼での、生徒生活指導部長から注意</p> <p>(3) 講演会、講習会の実施 ア、薬物乱用防止教室の実施 イ、防犯教室の実施 ウ、人権研修会 エ、ネット犯罪防止教室の実施 オ、自転車通学者講習会の実施</p>

3 学力向上と進路

- (1) 教科指導の強化
 - ア、教員研修会の実施
 - イ、道徳教育の実践による教員のスキルアップ
 - ウ、大学講師と連携した勉強会
- (2) 英語教育の強化
 - ア、英語検定全員受検と受検のための指導
 - イ、イングリッシュキャンプの実施
 - ウ、オンライン英会話の実施
 - エ、ECL教室の活用
 - オ、語学研修の実施
 - カ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励
- (3) 講習等の実施
 - ア、始業前の学習指導
 - イ、放課後講習の実施 [すらら（自立学習支援システム）の活用]
 - ウ、長期休暇中の講習実施 [すらら（自立学習支援システム）の活用]
- (4) ICT教育の推進
 - ア、ICT関連のICT教育先進校、ICT活用授業モデル校訪問、研究会、展示会参加
 - イ、生徒に1人1台のChrome Bookの配付
 - ウ、研究授業実施（電子黒板・Chrome Book を活用した授業研修）
- (5) 外部講師による特別授業の実施
 - ア、税理士による税の授業
 - イ、道徳授業
 - ウ、防犯教室

4 保護者地域に開かれた学校づくり

- (1) 保護者による授業参観と懇談
 - ア、年二回の授業参観の実施
 - イ、学期毎の成績懇談の実施
- (2) 保護者との連携と情報発信
 - ア、保護者参加型の行事を実施
 - イ、classi及びホームページでの情報発信
- (3) 地域活動への参加
 - ア、地域のイベントへの参加
 - イ、吹奏楽部定期演奏会（フェニーチェ堺）
- (4) 奉仕委員会
 - ア、地域での奉仕活動
 - イ、近隣の老人ホーム慰問

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

自己アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>○生徒</p> <p>アンケート結果によると、生徒の90%以上が学校生活を楽しく過ごしているとの結果が出ている。授業に関しては、一部私語をしてしまう生徒がいる授業もあるが、全ての授業においてレベル・進度共に適切であり、ICTをうまく活用されていて、非常にわかりやすく、板書も見やすいとの意見が大半である。また、ベル着ができていない生徒が少し多くなってきている傾向があるが、授業には集中して取り組んでいる。ただし、教科の内容に関しては、興味が無いとは言えないが、大変興味を持って取り組んでいるとも言えない状況もある。家庭学習の時間は、「すらら」（学習支援システム）の影響もあって徐々に増加している。部活動に対する生徒の気持ちの強さは、年々高まっている。本校の目標である文武両立を達成するために、日々努力している生徒の様子が伺える。</p>	<p>・今の自分に何が必要なのか。これからの時代に何が必要なのか。を真剣に考えてもらいたと思います。勉学やクラブ活動・友人関係やその他の活動など大いにチャレンジしてたくさん経験をさせてもらいたいと思います。</p> <p>・中学校からICTを活用し学ばせて頂けることは有難く思います。家庭学習の習慣がつくよう、さららの導入も素晴らしいと思います。中学校へは大多数は公立へ進み、通学環境や友人、同級生、基本的に大きな生活環境の変化なく進学する。しかし本校は中学校からの私学であり、12-13歳にして全く新しい環境での人間関係を構築しなければならない。これはある意味大きな試練であるし、経験であります。多くの子供たちは中学生において社会人になるための多くの基礎を身に付けていると思います。「人間関係」「友人」「責任感」「競争」「挫折」「遠慮や配慮」などです。これらの大切な欠かせない要素を全く新しい人間関係のなかで作らなければならない。それらをスムーズに身に付けるにはそのような環境に身を置くことが近道。それには本校でも注力している部活が最適だと思います。私の個人的な提案ではありますが、本校、中学においては運動部・文化部は問わないが部活動参加を全生徒の必須とした方が良いかと考えます。</p> <p>・ICTに関しては優れているとのことですが、大和川中学校(近隣中学校)でもICTの活用は高く評価されていると聞いています。互いに交流を持つことでレベルアップできるのではないかと考えます。</p> <p>・しっかりと目的をお持ちになり、自身のレベルアップの為に浪速中学校をお選びになりご入学されているようにお見受けいたします。建学の神社神道の教えを享受なされ優しくたくましくお育ちになられているように感じ取れます。浪速中学校を家族のように思い一体となり、日々明るく健やかに過ごし、最新鋭の教育環境に順応しておられます。この健やかで生きる力が強い生徒さんが今の浪速中学校を投影し、大阪府下での学校評価も右肩上がりに上がってきているように感じます。</p>
<p>○保護者</p> <p>今年度もコロナ関係で授業参観を実施できなかったのが、例年のような形での保護者アンケートは実施できなかった。しかしながら、コロナ関係で登校できない生徒向けにオンラインでの配信を併用したハイブリット型授業については保護者からは非常に満足頂いている。</p>	<p>・新型コロナウイルスの影響で授業参観や浪速祭など、保護者の方が学校行事に参加することがほとんどありませんでした。PTAの総会やPTAクラブ活動等は以前ほどにはできませんでした。今後のPTA活動をしていく中で、コロナ禍の影響等も踏まえ、今後は今まで以上に保護者の皆様へ活動に参加していただける様に考えていきたいと思っています。</p> <p>・コロナ禍においてどのような学生生活が正しいのか、適正なのか。経験のしたくない事態が3年間続きました。学ぶ姿も部活動取り組む我が子、楽しみにしていた学校行事。一度しか経験出来ない時間を経験できなかった。見守れなかった。大変残念なことであります。しかし、新しい時間も生まれました。多くの家庭で家族がほぼ毎日同じ時間を共有し、時には子供から勉強に関する質問を受けることもあったと思います。学校よりのサポートが十分であったかどうかこれは判断しかねますが、コロナ禍だから学校よりの情報発信、課題に家族で取り組める時間が生まれたことは将来に向けて収穫であったと思います。</p> <p>・常に進化していく学校と、家族のように面倒見のいい先生方を高く評価されているように感じ取れます。保護者の方から他の部外者の方にも満足なされている事を多くお伝えなられていることをお聞きします。年々人気の増す中学校にステイタスを感じられ、誇りに思われているようにお見受けします。</p>
<p>○教職員</p> <p>全教職員のアンケートによると、学校運営については、建学の精神や愛校心、校内教員研修の充実についてもほぼ100%の教職員が達成したと評価をしている。ただ、授業公開状況や地域との交流についての項目は43%・62%と低い数字となっている。このコロナ禍の状況でも何らかの方法を考えていくべくであると感じている。教育内容については、全ての項目でほぼ100%の評価となっており、授業の質を高める努力やきめ細かい指導の必要性を、本校の教職員が重要と考えているといえる。</p>	<p>・今回の新型コロナウイルスの件で、教職員の方は大変だったと思いますが、今まで以上に学業の授業や生活指導をお願いしたいと思います。若い教職員も増えているかと思いますが。教育関係の研修会や講習会等のみではなく一般社会の事を学んでいく必要があると思います。人間としての幅を増やして、生徒への教育に生かして欲しいと思います。</p> <p>・先記載の通り、コロナ禍での学校運営について評価を行う基準を誰も持ち合わせていない状況です。生徒が成長するなかでその結果が出てくると思っています。公開授業や地域交流などはコロナ禍で学校主体で行うことは困難であります。客観的に見る知識や経験もないのですが、大きな問題が発生しなかった。他校と比較し学力が劣っていない。部活動など条件付きで継続できた。相対的な判断で良かったといえるのではないのでしょうか。</p> <p>・毎年毎年伝統の面倒見の良さが際立ち、明るく和やかな雰囲気職員室が心地よく私自身は感じます。家族のように生徒さんと接し成長を楽しんでおられる先生方に深く感銘を受けます。最新教育機器やスキルアップに努力し生徒さん第一にお考えなられているお姿は今の浪速中学校人気の根幹そのものであると思います。</p>
<p>○分析</p> <p>浪速中学校の教育環境に関しては、三者（生徒・保護者そして教職員）とも非常に高いレベルにあると感じている。その中でも特に目立っているものは、ICT機器を利用した授業、習熟度別授業の実践（2クラス3展開の授業スタイルは好評）、部活動の充実（全国大会出場クラブの増加）、HPの積極的な活用（特にスクールウォッチの掲載）、保護者連絡システムの充実と言える。</p> <p>浪速中学校では、生徒の様子を常に細やかに観察し、問題の未然防止・早期解決につなげる努力をしている。その面倒見の良さが本校の教育の最重要項目であることとらえている。また、自らの考えを伝える能力を育成するために、道徳教育を通して行うことはもちろんのこと、英語4技能の強化を通しても行っている。更なる教育の向上を目指して進んでいくべきと考えている。</p> <p>今年度は、コロナ関係により登校できない生徒向けにオンライン配信を併用したハイブリット型授業を行い、生徒・保護者とも高く評価されている。</p>	<p>・今回の新型コロナウイルスの件で、いつ何がどうなるかわからない時代になりました。5G時代になる事によって、またさらなるオンライン化が動めやすくなるかと思えます。いかなる事にも素早く対応できる様に、危機管理を最大限に持って、素早く対応できる様に準備していただきたいと思えます。浪速ならではの教育を進めていただきたいと思います。ICTなどのデジタル的なものだけに頼るのではなく、教員と生徒の人間としてのいい関係をもっと増やし、生活力や学力をもっと向上させる様に教育していただきたいと思います。</p> <p>・浪速中学校の教育環境、教育機器、設備においては他の私学と比較しても相当高いレベルだと思います。また保護者の考え次第ではありますが、私は信仰する心を育て、部活動に積極的に取り組む御校の考えに深く賛同します。更に希望を申し上げるなら、私学なのだから学校の考えや方針をもっと鋭く特化した運営であっても良いかと思えます。技能を取得する機会やコロナ禍での対応に関しては可能な限りの情報発信と手法で乗り切れたことに評価します。</p> <p>・浪速中学校、愛情深い家族のような学校だと思います。大阪府下でも間違いなくトップクラスの面倒見の良さと類を見ない教育の進化などが世間一般の方々に日々認知され、力が増えているようにお見受け致します。ITの環境などインフラ設備のスピード力、クラブ活動のバックアップ力など神社神道の心の教育が文武両道のパンスを作り、生徒さん保護者の皆様方もご安心されています。高みを目指して日に日にと活力が増す浪速中学校、努力を100%以上なされる先生方と接していることが、私自身も深く感銘を受け感謝しております。</p>

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取り組み計画・内容	評価指標	自己評価		
学校運営	(1) 神社神道の精神である「浄明正直」実現	ア、授業・学校行事を通して神社神道の精神を学び成長の糧とする。毎月一日の学院神社参拝、伊勢HR合宿を実施。	学校の中心的な取り組みとして、道徳の授業・総合的な学習の時間と関連させて実施する。	行事（一斉参拝・春季例祭・秋季例祭・お伊勢参り）と授業（総合神道・道徳）を連携させて実施。		
		イ、奉仕活動を積極的に実施し、奉仕の精神を養う。	校内外の清掃活動を実施	木曜日に、HR教室以外の清掃活動を実施した。コロナ関係で、校外清掃活動のクリーンアップ作戦は実施しなかった。		
	(2) 教員研修の充実	ア、中学独自の教科ごとの教員研修の実施。	教材研究時の情報交換およびテスト作成検討会の実施	各教科、公開授業・研修会を実施した。また、中学校教員・生徒向けの研修会を、外部講師を招いて、11月24日に実施した。		
		イ、道徳教育推進委員会による道徳研修会の実施。	学校内での研修会と外部の研究集会への参加	今年度は実施なし。		
		ウ、中高合同教科別研修会の実施	教科ごとで学期に一回の研修会の実施	今年度は実施なし。		
		エ、外部講師を招いて、教職員全員対象の研修会を実施	現在、社会的問題（人権等）となっているテーマについての研修を実施	6月16日・10月6日・1月26日に実施をした。		
		オ、ICT教育関連の研修会・発表会・見学会の参加。	研修会、発表会、見学会の参加。研究授業の実施	各教科ともICT機器を積極的に用いた授業展開を実施した。6月24日には教職員ICT研修会公開授業・分科会を実施した。		
		カ、新任教諭による研究発表会の実施	新任教諭が存在する年に開催される	4月14日・5月12日・11月17日に実施した。		
	(3) 学校施設の充実	ア、学習施設の整備充実	常に、必要な教材等の検討を行う。	Chrome book の購入・活用。		
		イ、校内学習補助機材等の充実	生徒にとって必要な機器の充実を検討する。	特別 I C T 教室の活用。		
		ウ、高天原スポーツキャンパスの整備	高天原スポーツキャンパスの整備	産土ゴルフクラブ練習場が完成した。		
	(4) 危機管理体制の確立	ア、災害時マニュアルを作成する	マニュアルの作成	総務・生徒生活指導部が中心となり作成した。		
		イ、水・食料・レスキューシートの備蓄を実施する	大阪 8 8 0 万人訓練の日に実施	9月2日に実施。		
		ウ、防災訓練、避難訓練の実施	年1回、中2対象で実施	コロナ感染症防止の観点より実施できず。		
		エ、住吉消防署による防災研修	4月14日に調査を実施。担任から生徒生活指導部長そして管理職へと情報を共有し、迅速な対応を実施した。	体験学習は実施できなかったが、外部講師を招いて11月24日に研修会を実施した。		
	基本的生活習慣の確立	(1) 人権教育	ア、生活実態調査	各学年1学期に1回実施	道徳教育推進委員会で検討実施	計画通り実施した。
			イ、講演会及び体験学習の実施	各学年2学期に実施		
			ウ、道徳の授業と関連させた人権教育			
		(2) 生活指導	ア、正門での登下校時の指導	毎日登下校時実施	計画通りに実施しており、現在の所、指導内容の成果が出てきており、問題発生件数は減少している。今後も継続的な指導が最も効果的であると確信して、日々の指導を充実させていく。	
			イ、いじめ防止マニュアルに添ったいじめ実態調査アンケートの実施	学期に1回実施	7月7日に教職員対象のいじめ研修会を実施した。	
ウ、服装、頭髮等の指導			月1回の全体指導			
エ、中学朝礼での生徒生活指導部長からの注意			月1回の全体指導			
(3) 講演会、講習会の実施		ア、薬物乱用防止教室	中高合同で実施	11月17日に実施した		
		イ、防犯教室	中高合同	10月6日に実施した		
		ウ、人権研修会	各学年で実施	11月10日・11月24日・1月26日に実施		
		エ、ネット犯罪防止教室	中高合同	4月6日に実施した		
			オ、自転車通学者講習会	中学で実施	1年生は4月11日、2・3年生は4月25日に実施	

学力向上と進路	(1) 教科指導力の強化	ア、教員研修会の実施。	教科別研修会の実施。	研修会を重ねながら、日々の教育実践につなげている。 定期試験前後で、各教科から資料の提出を義務づけた。 生徒それぞれのレベルにあった対応ができるように、日々の研鑽が必要である。	
		イ、道徳教育実践による教員のスキルアップ。	毎週の道徳授業の実践。		
		ウ、大学講師と連携した勉強会	各教科主任と連携した検討実施		
	(2) 英語教育の強化	ア、英語検定の全員受験	3学期に実施	6月3日に希望者での実施。 2月13日に全員受験を実施。	
		イ、イングリッシュキャンプの実施	夏休み中に校内で実施	8月17日～20日に校内にて実施。	
		ウ、オンライン英会話の実施	各生徒、毎週1回の実施	授業として週1回実施	
		エ、ECL教室の活用	英語教育の拠点として活用	オンライン英会話を中心として利用	
		オ、語学研修の実施	3月に校外で実施	3月6日～9日 国内留学プログラムをユニトピア篠山にて実施	
		カ、英語科教員に英語検定取得とTOEICスコアの取得の奨励	英語検定準1級またはTOEICスコア730以上を目指す	新任教員など基準クリアを目指して資格試験を受験予定の教員が複数いる。	
	(3) 講習等の実施	ア、始業前の学習指導	朝学習、視写、朝読書の実施	視写で視写ノートの活用。 朝学習で問題集の活用。	
		イ、放課後講習の実施	全学年I類生徒への講習を実施。 すらら（自立学習応援プログラム）を活用。	毎週火曜日と金曜日に実施。	
		ウ、長期休暇中の講習実施		計画通り実施した	
	(4) ICT教育の推進	ア、ICT教育先進校、研究会、展示会参加。	学校訪問・研究会・展示会に参加。電子機器を使用した研究授業を実施。	ICT教育の充実をすすめ、電子黒板・ChromeBookを活用した授業展開。 1人1台のクロームブックが完備。	
		イ、生徒に1人1台のChromeBookを配付	中学1年生全員に、ChromeBookを配付。		
		ウ、研究授業の実施	電子黒板・ChromeBookを使用した授業実践		
	(5) 外部講師による特別授業（出前授業）の実施	ア、税理士による税の授業	住吉税務協会と連携	コロナ関係で、本校教員が授業内で実施。	
		イ、道徳の専門家による道徳の授業	道徳教育推進委員会により実施	7月27日、12月13日実施	
		ウ、警察官による防犯教室	住吉警察署と連携	2月24日に実施した	
	保護者地域に開かれた学校づくり	(1) 保護者による授業参観と懇談	ア、授業参観の実施	年2回（4月・11月）の実施	コロナ関係で、実施しなかった。
			イ、成績懇談の実施	学期ごと（7月・12月・3月）の実施	7月・12月・3月に、保護者・生徒・担任の3者で実施。希望者にはリモートで実施。
		(2) 保護者との連携と情報発信	ア、保護者参加型の行事を実施	学期ごとに実施	浪速祭・耐寒登山をPTAと協力をして実施予定であったが、コロナ関係で中止。 卒業式後の謝恩会は、コロナ関係で計画せず。
イ、classi及びclassroom、ホームページによる情報発信			classi及びclassroom、HPを活用した保護者への情報提供。	ホームページの充実を心がけ、スクールウォッチで学校での出来事を常に発信した。 classroomを利用して、保護者連絡を実施。	
(3) 地域活動への参加		ア、地域のイベントに参加	積極的に参加する	11月12日大和川中学50年式典に参加。 6月12日、7月17日に住吉区民センターにてレインボークンサートを実施。 3月29日に堺市立西文化会館にて雅楽鑑賞会を実施。吹奏楽部定期演奏会は3月30日に実施をした。	
		イ、吹奏楽部定期演奏会（フェニーチェ堺）	3月に実施		
(4) 奉仕委員会		ア、地域清掃奉仕活動	年3回実施	コロナ関係で、クリーンアップ作戦は実施しなかった。	
		イ、近隣老人ホーム慰問	2学期に実施	新型コロナウイルス感染症防止の観点より老人ホーム慰問は中止した。	

浪速中学校学校評価 令和5年度に向けた改善について

・学校生活が楽しいと答えられなかった生徒（約10%）に対する対応について

コロナ禍での活動自粛が終了したことを受け、行事の復活・補強（合唱コンクール・浪速祭・クリーンUP作戦・芸術芸能鑑賞会）で、ある程度は改善できると思われる。生徒へのアンケート調査（学校行事に関する）を行い、より生徒や保護者のニーズに近づけた行事を展開する。

・授業内容のさらなる精選、バージョンアップについて

現在の活動の継続となるが、ソフトの利用など、目新しさを追うのではなく、より生徒にとって分かりやすい授業を前提に、改善個所を確認し対応する。

・登校ままならない生徒や、頻繁に早退を希望する生徒に対する対応について

現在と同様に、対応としては、ご家庭と情報を共有し、出来る限り登校を促し、その後は発熱などの事由を除き、出来る限り早退させないようにしたい。至誠寮を積極的に活用し、校舎や教室に入り辛い、居辛い生徒のケアを行う。

・英検の3級以上の合格率の上昇について（※英検専用の学習アプリ TiFFa以外の取組で）

終業式後の特別講習などで、英検対策強化週間を設定する。

授業の中での帯活動を行い、継続的に1次試験の練習問題や過去問を演習する。2次試験対策として英語科教員で共有して生徒の面接練習の時間をスケジューリングしていき1人でも多くの生徒の練習を行う。

・心の教育について

キャリア教育の拡大、多聞農園を活用するなど、クラス単位で生物を自分たちで育てる機会を確保する。また車椅子体験、アイマスク体験などを行い、他者の理解促進に努める。

・保護者参加型の行事の増加について

体育祭や卒業式などはライブ配信を継続する。授業参観等についても積極的に検討する。

体育大会での保護者参加種目の復活、耐寒行事での保護者のお出迎え、6Rでの試食会など。

・クリーンアップ作戦の復活について

各学期に1回実施する。担当は（風紀・保健・奉仕）の各委員会が対応する。

・公開授業の回数確保について

ICT関係を絡め、各教科年間1回以上は実施する。